

新潟という、
大きな教室で。



令和8年度実施

新潟県公立学校教員募集

令和8年度実施 新潟県公立学校教員採用選考検査の主な変更点

- 1 英語専科指導教員と通級指導教室担当教員を新たに募集します。
- 2 高等学校教諭「地理歴史・公民」を「地理」「歴史」「公民」、高等学校教諭「理科」を「物理」「化学」「生物」「地学」として募集します。

教員募集
サイト



新潟県教育委員会



先生になって、伝えたいこと

先輩教員紹介

教えることは、学び続けること。子どもたちと向き合う毎日の中で、少しずつ広がっていく新しい景色があります。



小学校教諭

成長の瞬間を間近で

感じられる仕事

教員として働く中で一番の魅力は、子どもたちの成長を毎日すぐそばで感じられることです。昨日までできなかったことができるようになった瞬間や、自信をもって手を挙げる姿を見るたびに、大きな喜びとやりがいを感じます。また、子どもたちは「先生!」と、嬉しかったことや悩んでいること、時には他愛のない話まで沢山話しかけてくれます。子どもたちにとって身近で安心できる存在として関わることができるのも、教員ならではの魅力です。忙しくて大変なこともあります。その分、子どもたちの成長や笑顔に支えられながら、自分自身も一緒に成長できる仕事だと実感しています。

子どもの夢や未来を支える

教員になって感じる魅力や、やりがいは、子どもたちの成長に関われることにあります。1時間1時間の授業や休み時間は、子どもたちにとって非常に大切な時間であり、その大切な時間に関われることに魅力や、やりがいを感じます。子どもを褒めたことで、その子が夢を持ったり、何気ない言葉で傷つけてしまったりなど、教員は、子どもが大人になったときに非常に大きな影響を与える存在だと感じています。



小学校教諭



中学校教諭

子どもの「できた!」を共に喜ぶ瞬間

教員になって感じる仕事の魅力ややりがいは、子どもたちの「できた!」という笑顔あふれる瞬間に何度も立ち会い、その喜びと一緒に分かち合えることです。時には、子どもたちと共に悩み、苦勞しながら課題を乗り越え、「先生ありがとう」と言ってもらえたときには、何ものにも代えがたい喜びを感じます。また一つの出来事や考え方に対して、子どもたちから「そういう見方があるのか」と気付かされることも多く、毎日が新たな発見の連続です。子どもたちと関わる中で、教員としてだけでなく、一人の人間として自分自身も大きく成長できていると実感しています。

試行錯誤で笑顔を引き出す

教員になって感じる教員の魅力は、生徒の成長を身近に感じることができることです。担当してきた生徒は、時計の読み方や箸の持ち方などを習得しようと努力してきました。これらのように生活に必要な技能の習得には、長期に渡る練習が必要です。生徒が壁にぶつかった時には支援の方法を見直し、スモールステップで練習を重ねてきました。その結果、正確に時刻をこたえることができたり、箸を上手に使うことができたり、少しずつ成長している生徒の誇らしげな表情と、共に頑張ってきたからこそ味わえる達成感は忘れられません。



特別支援学校教諭



高等学校教諭

生徒を思い描く授業づくり

質問にきてくれたり、相談をしてくれたりしたとき、自分が誰かの役に立っていると実感でき、教員になってよかったと感じます。また、授業準備の際に生徒の顔を思い浮かべながら内容を考える時間も楽しい時間です。担当科目である物理という学問を深め続けることができ、仕事の一環として学び続けられる点も、教員という仕事の大きな魅力だと感じています。授業前や授業後に生徒と何気ない立ち話をします。大きな出来事ではありませんが、日々の関わりの中で、生徒にとって立ち寄れる居場所の一つになれていると感じる瞬間があり、教員としての意義を実感します。こうした日常の積み重ねこそが、この仕事を続けたいと思える一番の理由です。

人との出会いが育む教育力

17年ぶりに教壇に復帰し、初任者として慣れない環境に戸惑うこともあり。生徒の前では平静を装っていても、毎日接する生徒は教員の小さな変化にも気づきます。授業や校務で悩んでいたとき、生徒から「どうした?」「元気ないね」と声をかけられました。この出来事から、私は多くの生徒や先生方に支えられていること、生徒が私を必要としてくれていることを実感し、教育の難しさと同時に、人との出会いの大切さを強く感じました。最初は「わからない」「できない」と感じていた生徒が、授業や実習を重ねるうちに「わかった」「できる」と自信をもって取り組む姿を見ることに、大きな喜びを感じます。



高等学校教諭



養護教諭

毎日違うからこそ、やりがいがある

「毎日違うことが起こる、それは大変だけどやりがいでもある」高校の時の養護教諭の先生が仰っていた言葉です。養護教諭として働く中で、ふとその言葉を思い出し、その通りだなと感じました。1日として同じ日ではないし、一人も同じ児童はいません。しっかりと目の前の子どもと向き合い、子どもの成長を支えるということにやりがいと魅力を感じています。新潟県は勤務する場所が広い、というイメージがあると思いますが私はそこが魅力だと思っています。まさか自分が佐渡に住むことになるとは思っていませんでしたが、これも新潟県勤務ならではの貴重な経験だと感じています。自分の知らなかった文化や人々との出会いを経験できる事がこれからも楽しみです。

若手教員 を支える 様々な取組

新潟県では、新採用をはじめとする若手教員をサポートする取組を行っています。例えば、モデル校にチーム担任を行うための非常勤講師やメンター的な役割を果たす加配教員を配置し、若手教員が安心して働けるようにサポートしています。



特別支援学級の支援員や教育補助員、講師を経験し、子ども達や先生方からたくさんのお話を教えていただきました。大学を卒業して十年以上経ちましたが、皆さんからいただいたたくさんのお話を大切にしながら、経験を生かして、教育現場で少しでも恩返しできたいな、という思いで採用検査を受けました。

メンター役の先生、拠点校指導員の先生、学年主任の先生など、初任者へのフォローアップが本当に手厚くありがたいです。



支える

若手教員が時間的にも精神的にもゆとりを持てるような業務サポートを意識しています。また、些細なことでも、良い指示や温かい言葉かけを見つけた時は、その日のうちに褒めて自信につなげてもらうようにしています。若手教員と何でも話せる関係を築くため、時には、一緒にランチを食べに行き、教室を離れた場でのコミュニケーションも大切にしています。

職員の数が多いこと、年齢が近い人も多いことが良さだと思います。学校生活において相談したいことがあったときにいろいろな人に相談することができるのは心の支えになっています。また、初任者のサポートをしてくださるメンター役の先生もいるので、1日目でも安心して仕事をすることができます。

元気いっぱいの子どもたちが「先生！」「先生！」と話しかけてくれたり、一緒に遊んだりしてパワーをもらっています。

何もかも分からなかった私をやさしく受け入れてくれて、なんでも教えてくださるいい先生ばかりです。分からないところや悩みがあったら、相談に乗ってもらい、一緒に解決させてもらっています。



支える

初任者にはもちろん、常に様々な職員と一緒に働く職員を気にかけて、困っていたり手が足りなさそうなことがあったりすると声をかけ、いつでも手助けしようとしています。つまり、チームで働こうとする意識が高いと感じます。

勤務時間が終了すると、趣味の話や雑談で大いに盛り上がることもあります。

支える

若手教員と一緒に悩み考え寄り添いながら自己実現の手助けをし、成長の過程を間近で見届けられることにやりがいを感じています。本音トークをしたとき、胸のつかえが取れた様子で、次週は笑顔に戻ってほっとしました。

日々、学級経営や授業づくりの思いや悩みについて、向き合って話した時間の積み重ねの中で、初任者の笑顔が見られたときが、一番の思い出です。初任者の思いやアイデアに触れたり、共に考えたりする過程で、自分自身も子どもと楽しく関わったり、教育観を新たにしたりする機会が得られました。



地域の方々が学校教育に協力的で、見学や体験、昔の話を聞く活動などを通して、子どもたちが人の温かさや郷土への誇りを感じられる場面が多くあります。

学校支援員やスクール・サポート・スタッフなど、教員以外の方からサポートいただき、安心して働くことができます。

学校支援員の方は、算数の時間に入ってくださいます。1人で30人以上を個別に教えるのは難しいので、細かな部分まで見てくださる方がいるのはとても心強いです。

また、スクール・サポート・スタッフの方がいらっしやることで、すぐに人数分のプリントを用意でき、その間に他の仕事を進められることがとてもありがたかったです。

支える

教育の目標や指導の意図を共有し、共に生徒指導に取り組むことで、同じ目標を持つ仲間が育っていくことにやりがいを感じます。さらに、初任者や若手教員が私の予想を上回る活躍を見せてくれることで、私自身も励まされ、支えられています。

充実した設備や外部との連携体制にも恵まれており、日頃の授業だけでなく特色ある探究活動も活発に行われており、私自身のやりがいにもつながっています。

支える

同じ生徒を教える同僚であり、お互いに協力できる関係作りを心がけています。また若い先生方は、チャレンジしたい高い目標を持っているので、自分の経験からできることはサポートするようにしています。若い教員が、日々経験を重ねて成長していく姿を目にすることはうれしいことです。

公開授業に向けて指導案を検討したことが、最も印象に残っています。生徒の現状を踏まえ、1コマの授業で何を伝えるのか、どのように伝えるのか、どうすれば興味を持ってもらえるのかなど、何度も話し合いを重ねました。こうしたやり取りを通して、私自身が教育に興味を持ち始めた頃の気持ちを思い出させてもらいました。



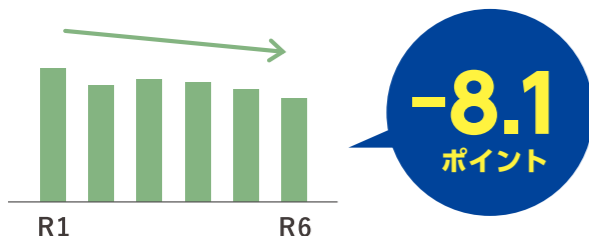


進んです!

働き方改革



時間外在校等時間の減少



時間外在校等時間が月45時間を超える教職員の割合が、5年間で8.1ポイント減少しました。

令和元年度：36.1% → 令和6年度：**28.0%**

全国平均以上の育児休業取得率

女性は100%、男性は全国平均を上回る育児休業取得率を記録しています。



令和6年度 新潟県教育委員会実績

女性 **100%** 男性 **34.9%**

業務の効率化

統合型校務支援システムをはじめ、学習支援・デジタル採点システム等を整備し、校務のデジタル化を進めています。

導入事例

「統合型校務支援システム・教育用クラウドサービス」教材や作成文書の共有による授業等の準備時間の削減。

「学習支援・デジタル採点システム」採点時間を削減。さらに結果をデータ化し、授業改善に活用。

部活動の地域展開



部活動の地域展開の取組を、積極的に進めています。これにより、業務時間の削減が図られています。令和8年度末にはすべての市町村で休日の地域展開が完了する予定です。

教員特殊業務手当(部活動手当)支給実績

令和4年度：66,853件

令和6年度：45,755件 (-31.6%)

市町村や学校の取組例

- 管理職が積極的に声掛けをし、休暇を取りやすい雰囲気をつくっています。
- チーム担任制を導入し、複数の教員で学級経営を進めることで、負担が軽減されています。
- スクール・サポート・スタッフが配置されていることで、担任業務が軽減されています。
- 学習ボランティアから学習補助や環境整備をしてもらうことで、子どもと向き合う時間が増えています。



勤務条件

初任給 大学院卒：296,688円 大学卒：279,243円

※令和8年2月1日現在、給与は、新潟県の給与に関する条例・規則に基づいて決定します。上記は、学校卒業後、直ちに採用された場合の月額です。教職調整額(4%)、義務教育等教員特別手当が含まれています。

諸手当 扶養手当、住居手当、通勤手当等の諸手当が、条件に応じて支給されます。

賞与 期末手当及び勤勉手当が年2回(6月、12月)支給されます。



大学3年時合格者の4年時の生活

もし3年時で合格できたら、残りの1年間で、教師になるための準備期間としてゆとりをもって過ごすことができると考えました。一方で、3年時に思うような結果にならなくても、その経験を4年時の受験に生かすことができると考えました。こうした両面から、特別選考を受検しようと考えました。



合格してからは、まず1年時から続けていた陸上競技部の活動を、最後までやり切ることに尽力しました。すでに合格をいただいていたため、部活動に100%の力を注ぐことができ、後悔なく引退することができました。そのため、学生生活に心残りはありません。

教職に向けては、新潟県教育委員会主催のセミナーや研修会に、可能な限り参加しました。県外で一人暮らしをしていたため、すべてオンラインでの参加となりましたが、特に、受講者同士で意見を交流する場では多様な考えに触れることができ、自身の学びを深める貴重な機会となりました。



Refresh

教員の休日



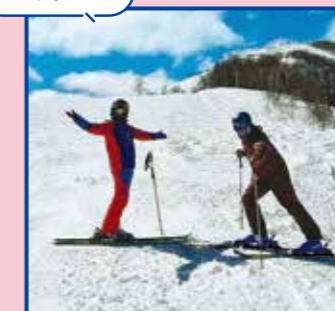
海外旅行

趣味の演劇



ラーメン

スキー



県内の観光



出願について

出願種別

小学校教諭

中学校教諭

高等学校教諭

特別支援学校教諭

養護教諭

●各種別と教科の募集人数等は、令和8年4月中旬頃にホームページ上に掲載します。

3つの出願形式があります！

(小学校教諭、中学校教諭)

出願形式Ⅰ 新潟市立学校を除く県内全域での勤務

出願形式Ⅱ 小千谷市、十日町市、魚沼市、南魚沼市、津南町、湯沢町に限る勤務

出願形式Ⅲ 佐渡市に限る勤務

令和8年度実施 選考検査の出願から採用までの流れ

詳細は「令和8年度実施 新潟県公立学校教員採用選考実施要項」でご確認ください。 ※日程は予定です。



昨年度までの採用状況はこちら



(令和7年度実施分を含めたものは4月上旬にアップ)

要項等の入手について

要項等は、県のホームページからダウンロードできます。

義務教育課

新潟市中央区新光町4-1
TEL 025-285-5511(代)
内線 3855・3856
<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/gimukyoiu/>



高等学校教育課

新潟市中央区新光町4-1
TEL 025-285-5511(代)
内線 3879・3880
<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/kotogakko/>



教員募集サイト

教員採用に関する情報を随時更新していますので確認ください。

<https://www.niigata.kyoinsaiyo.pref.niigata.lg.jp/>



選考検査に関するお問い合わせ

新潟県教育委員会義務教育課・高等学校教育課
〒950-8570 新潟市中央区新光町4-1 TEL025-285-5511(代)

